



実現 26年度予算、202項目を実現!

杉並区議会公明党は、平成26年度予算に関する要望、253項目を田中区長に提出しました。そのうち特養老人ホームの整備、待機児童解消事業、介護予防対策の拡充、家族介護者支援事業の充実、木密地域対策等、202項目に予算を勝ち取ることが出来ました。



田中区長に要望書を提出／2013年10月



実現 特別臨時給付金、公明党が推進!

年金・医療などの社会保障の財源を確保するために、4月1日より消費税が8%へ引き上げられました。公明党は低所得者の影響を緩和するため、臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金を推進しました。6月に対象者に申請書が送られます。また、生活保護世帯には、生活扶助基準を改定する方針です。

| 臨時給付金の内容 | | |
|----------------------|------------------------------------|--------------|
| 対象 | 臨時福祉給付金 | 子育て世帯臨時特例給付金 |
| | 住民税(均等割)非課税世帯 | 児童手当受給世帯 |
| 給与収入のある単身者は年収100万円以下 | 夫と専業主婦の妻、中学3年生以下の子ども2人の場合 | |
| | 公的年金受給者は単身の場合155万円以下、夫婦の場合は211万円以下 | 年収960万円未満の世帯 |
| 支給額 | 1人1万円 年金受給者は5000円加算 | 子ども一人あたり1万円 |

(金額は、消費増額による1年半分の食費増加を参考にしています。) ※非課税限度額は東京23区の場合

認知症早期発見器を視察しました!

現在認知症の患者は200万人以上といわれ、高齢化が進み、さらに患者が増えることが予想されています。早期発見、早期治療に取り組むことが今後の大きな課題です。そこで認知症の新検査法を考案した岡山大学院の吳景龍自然科学研究科教授(生体計測工学)と、安倍康二歯薬学総合研究科教授(脳神経内科)にお会いし、認知症早期発見器を紹介して頂き、今後の対策についても話を伺いました。



岡山大学病院視察／2014年2月



吳教授(左)の説明を受けながら認知症発見器を体験



安部教授(左)と一緒にパチリ

認知症早期発見器は小さな検査口に指を触ると、2種類の「くの字」形の突起が現れ、その角度の大小を識別する事で判別する手法です。

吳教授らは、約10年前から視覚や聴覚などを活用した検査法の開発に取り組み、客観的に検査できる触角と視覚角度が最適と判断されたそうです。

3～5年後の実用化を目指すそうです。



実現 旧環七通りが、カラー舗装に!10年越しの要望が実現!

横山えみが長年にわたり要望してきた、和泉通り商店会(旧環七通り)、道路修復とカラー舗装が、和泉1丁目町会、和泉2丁目町会、方南西町会の総意のもと完成となりました。

旧道路は駐車の車が多く、高齢者や、ベビーカー利用の親子、障害者の方々から、安心して歩ける街にしてほしい



カラー舗装前の旧環七



道路修復とカラー舗装された旧環七／2014年4月



LED電球に建て替えた街路灯／2014年4月



4月19日に完成祝のイベントが開催されます。午前11時より、日舞、バルーンアート、太鼓樂、專大付属高校プラスバンドとチアガールの演奏と演技が行われます。また、野菜のチャリティー販売が行われ、東日本大震災の復興支援金として寄付されます。



実現 「サナホーム」特別養護老人ホーム開所式に参加

区内の特養待機者は1000名(Aランク)といわれています。

その対応のため26年度はマイルドハート、和田1丁目特養ホームが開設。また施設再編整備の中で永福南小学校跡地、荻窪稅務署跡地等に特別養護老人ホームの検討がされる予定です。



開所式で田中区長のあいさつ／2014年3月



下高井戸に地域コミュニティ施設モデル館



下高井戸地区区民センターで地元説明会が行われ、関連課長が地域の声に答えました。／2013年12月



実現 防災街づくり懇談会



木密地域第1回防災街づくり懇談会で、老築化が進み倒壊の恐れのある空き家対策の要望が出されました。／2014年2月

川崎マリエンビーチコートを視察



2020年東京オリンピックを見据えて、杉並区在住の朝日健太郎氏(元オリンピックビーチバレー選手)と共に視察しました。／2014年1月

東日本大震災「3.11をわすれない」に参加

大震災から3年の節目を刻み、さらなる復興のために全力で支援し続ようと決意を新たに致しました。／2014年3月

